

単元名 【旧】わたしの大切な風景(絵)

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 毎日の生活を見つめながら、大切に思う風景やその様子を考えることができる。
 (2) 大切な風景の様子や思いなどが表れるように、表し方を工夫することができる。自分や友達の絵を見て、大切にしたい思いや作品のよさを感じ取ることができる。
 (3) 毎日の生活の中から、大切に思う風景を見付け、絵に表すことに取り組もうとする。

標準的な展開例

06080106_001

【準備等】水彩画紙、黄ボール紙、鑑賞カード、デジタルカメラ、水彩用具一式、写真（好きな場所）

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1, 2 自分が気に入っている場所を探し、絵の構想を練る。 ○自分が気に入っている校内の場所とその理由を発表する ★自分の好きな場所を絵に表そう ○気に入っている場所の中から、スケッチをする場所を決める。 ・遊んだ場所 ・思い出の場所 ○実際にかいてみたい場所に行って、スケッチをする。 ・いろいろな角度から見た様子（ねそべる、しゃがむ、見下ろす、見上げる） ・一番かきたいものの様子 ・周りの様子 3～5 色を工夫しながら、彩色する。 ○中心になるものを彩色する。 ・中心になるものの色の工夫 ○場所の雰囲気が伝わるように彩色をする。 ・混色 ・重色 ・筆使い ○全体の調子を整えながら、作品を完成する。（活用） ・全体のバランス 6 友達の作品を見て、そのよさを話し合い、思いを感じ取る。 ○選んだ場所の紹介文を鑑賞カードに書き、発表する。（言語活動） ○友達の作品を鑑賞し、よさを感じ取る。	・教科書 5・6 下 P. 14, 15 ・発表を聞くことで、場所にはいろいろな人の思い入れがあることに気付かせる。 ・児童がどんな場所に行くのかを確認し、安全についての配慮をする。 ・安全上の理由から、かく範囲を絞ることも考える。 ・建物を斜めからかくことを意識させると、奥行きのある絵の構図になる。 ・スケッチの段階で、児童の思いをよく理解し表現方法などを助言する。 ・見えるものすべてをかくのではなく、省略してもよいことを知らせる。 ・八つ切りの半分や葉書サイズの手紙を使わせたり、黄ボール紙を使わせたりしてもよい。 ・児童が選んだ場所をデジタルカメラで記録しておき、次時の構図の助言に使用するとよい 【評】 作品を通して、気に入った場所のよさが伝わるように、画面構成を工夫する「発想や構想の能力」を評価する。 ・中心になるものと周りのものの色の関係を感じ取らせながら、表現を工夫させる。 ・季節、時刻、天気を考えさせて、彩色させる ・場所ごとにデジタルカメラで撮影しておくとな候を気にせず教室に帰ってからも彩色できる。 ・表現活動の途中で、自分の意図しているものがきちんと表現されているか確認をさせる。 【評】 作品を通して、混色や重色の仕方を理解し、筆使いを考え彩色する「表現の技能」を評価する。 ・絵に込められた思いやかきたかったことを発表させる。

【 備 考 】

この単元では、児童が今まで生活してきた風景を改めて見直し、自分が大切に思う風景や思い出の場所を絵に表す活動をする。特に自分が大切に思う場所を選んで、どのように画面の中に入れるかを構想する力、自分が感じた風景の色を混色や重色により工夫してつくる技能を伸ばしていくことが大切である。言語活動の場面では、絵に紹介文を添付したり、実際に説明したりすることにより、選んだ場所に対する思いを改めて感じ取らせるとよい。

<参考URL>

アイデアスケッチ 6年¥図画工作¥Doc¥図画工作科用語集. jtd